

# カワサキ会計事務所ニュース

令和6年8月号 第49号

発行所 カワサキ会計事務所  
〒850-0918 長崎市大浦町7番22号コーポおおうら3F  
TEL (095)826-1718 FAX (095)826-1835  
URL <https://www.kawasaki-kaikai.com>  
発行人 税理士 川崎 清廣

## 8月の税務カレンダー

個人住民税 普通徴収 第2期  
国民健康保険税 第3期  
個人事業税 第1期

8月10日(土)から15日(木)まで  
カワサキ会計事務所はお休みします。



## iDeCoとNISAの違い

2024年1月よりNISAの新制度が開始されました。それに伴いNISAとiDeCoの違いについてのご質問がありましたので違いについて簡単に触れていきたいと思います。  
※旧NISAと新NISAの違いについては現在、旧NISAへの投資はできないため今回は触れません。

	NISA	iDeCo
目的	自由（住宅資金、教育資金、将来の資金等）	老後の資金
投資対象商品	（つみたて投資枠） 長期・積立・分散投資に適した一定の投資信託  （成長投資枠） 上場株式・投資信託等	投資信託・定期預金・保険商品
対象年齢	18歳以上	原則20歳以上60歳未満の国民年金加入者
運用の上限額	1,800万円	年間144,000円～816,000円 （職業等の状況によって異なる）
引出し可能期間	いつでも可能	原則60歳以降
手数料	口座管理手数料 0円 （売買手数料等がかかる場合がある）	加入・移換時手数料 2,829円 国民年金基金連合会手数料 月額105円 運営管理機関手数料 金融機関で異なる 還付手数料 1,048円
税制優遇	運用益が非課税	掛金の全額所得控除 運用益が非課税 受取時に公的年金等控除、又は退職所得控除の対象になる
確定申告 年末調整	不要	必要

表のようにiDeCoはNISAよりも税金の優遇が多いことが特徴ですが、iDeCoの加入で気をつけたい点に加入時期があります。iDeCoの老齢給付金は最初の掛金を拠出してから10年以上が経過して初めて受け取れます。60歳で受け取りたい場合は、50歳未満で加入しておかなければなりません。

### それぞれのデメリットについて

#### NISA

幅広い商品を取り扱えますが、対象商品はすべて投資商品です。そのため運用次第では元本割れの恐れがあるという事を頭に置いておいてください。

#### iDeCo

原則60歳まで引き出す事ができません。また、iDeCoを取り扱っている金融機関によっては、商品の選択肢が少ない事があり、投資商品がほとんどのため、NISA同様元本割れの恐れがあります。ただしiDeCoはNISAと異なり、満期まで持っていれば原則元本割れしない、元本確保型商品も用意されています。

注：運営管理機関手数料等で元本割れする場合があります。

### <最低賃金 過去最大50円引き上げへ！>

厚生労働省の審議会は、7月25日過去最大となる全国平均50円の引き上げを目安として示しました。従来は、地域をA、B、Cの3区分として格差を設けていましたが、今回の目安では地区別の格差はありません。長崎県でも、50円の引き上げとなる予定です。諸物価が上昇しており、特に生活必需品の値上がり大きいこと等を考慮したのですが、雇用を維持する中小企業にとって賃上げの原資をどのように確保するか頭の痛い問題です。